

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



プレスリリース 2025年1月

ブシュロン 2025年 ハイジュエリーコレクション

“UNTAMED NATURE (手つかずの自然)”



ブシュロンは、新作ハイジュエリーコレクション“UNTAMED NATURE (手つかずの自然)”を発表いたします。メゾンは毎年2回にわたり、1月と7月に異なるコンセプトのハイジュエリーコレクションを発表。1月に発表される「ヒストリー オブ スタイル」コレクションは、メゾンが辿ってきた歴史やヘリテイジ作品を着想源に、現代的な解釈を加えたクリエイションです。

今回の新作ハイジュエリー「ヒストリー オブ スタイル」コレクションで、クリエイティブディレクターのクレール・ショワンヌがその題材に選んだのは、「ネイチャー(自然)」でした。ヴァンドーム広場にブティックを構える歴史あるハイジュエラーにとって、自然は常に尽きることのないインスピレーションの源であり、ブシュロンの創業者であるフレデリック・ブシュロンも例外ではありませんでした。しかし、ブシュロンはすぐに、「自然主義的で手つかずの、ありのままの自然」という独自のビジョンによって宝飾業界において一線を画す存在となりました。自然に魅了された創業者のこうした視点は、ブシュロンのアーカイブコレクションに見られる、ツタ、アザミ、シダ、ハエ、マルハナバチといった作品にも反映されています。

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



クリエイティブディレクターのクレール・ショワンヌは今回、メゾンに継承されるユニークな自然観に敬意を払い、過去の作品に新たな視点を加え、そして全く新しい次元を見せることで、その世界観を超えた新境地を切り拓きました。大胆で革新的なスタイリングを想定してマルチウェアラブルな作品として制作された新たなクリエイションが、その存在を主張しながら身に着ける人の体を覆いゆく様はまるで人間が自然の中に溶け込み、その生態系の一部として一体化したかのようです。ブシュロンは命ある自然そのままの姿を捉え、ハイジュエリー作品の生きた百科事典として28点から成る新作「UNTAMED NATURE（手つかずの自然）」を発表します。

フレデリック・ブシュロンの目を通して見る「ネイチャー（自然）」

フレデリック・ブシュロンは、創業当初より人間の手が加わっていない自然本来の姿に強く惹きつけられていました。1858年に初めてブティックを構えたパレ・ロワイヤルのアーケードの壁を勢いよく這い上がっていくアイビーもフレデリックにとって大きな着想源のひとつでした。当時のジュエラーたちが高貴な花々や威厳ある動物を好んで題材にしていた一方、彼が魅了されたのは、むしろ一見すると控えめに見えるクローバー、デイジー、野バラ、アザミといった素朴な草花や、蝶やコガネムシ、トンボといった小さな生きものたちでした。

彼のクリエイションに対する情熱は単なる美しさの追求に留まらず、その姿を正確に再現することにまで及びました。19世紀当時の科学書物をはじめとした600冊以上の書籍を集め、自然に息づく動植物について、細部に至るまで徹底的に観察と研究を重ねました。メゾンのアーカイブには、風に吹かれて折れ曲がった植物や、ねじれた葉、そして、しおれた花までもがありのままの姿で記録されており、ブシュロンが追求した自然主義への真摯な姿勢が映し出されています。



ハイジュエリーコレクション「UNTAMED NATURE (手つかずの自然)」

I . Plants (植物)

AIRELLES (エレル)



ネックレス

忍耐と強靭さを象徴するエレル（コケモモ）は、赤い果実を実らせる低木で、標高 300 メートルから 3000 メートルの過酷な環境で自生し、北極圏でも生息するほどの耐久性と強い生命力を持ちます。

クレール・ショワンヌの手によって、アーカイブ作品から進化したエレルは、その葉を自由に伸ばしていきます。作品全体には高度なハイジュエリーの技巧が駆使され、その形を自由に変えることができる構造を実現しました。ネックレスの茎部分はいくつかのパーツに分かれ、取り外しが可能です。体を覆うほどのサイズのカスケードブローチとしても、それぞれのパーツを小さなブローチとして着用することもできます。緻密な可動構造により茎同士が完璧な流動性を失わずに連結され、自由なフォルムを描き、身体にしなやかに寄り添います。メゾンのアトリエは着用時の快適さを損なうことなく、茎をしっかりと固定し、細部の葉の部分に可動させられるよう仕上げました。

また、葉の裏面には、しずく形に仕上げられた繊細なオープンワークが施されています。茎の部分は、ダイヤモンドの輝きを引き立てるためにゴールドの存在を最小限に抑え、小さな爪でしっかりと固定しています。このブローチを構成する 84 枚の葉には、職人たちの手作業でダイヤモンドのスノーセッティングが施されています。

アイテム名： ネックレス（マルチウェア作品）

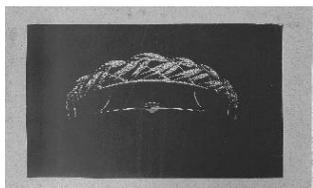
素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド



AVOINE (アヴォワンヌ)



ヘッドジュエリー



アーカイブからのインスピレーション：オーツムギ・スパイクレットバンドーティアアラ(ダイヤモンド)、1906年

©Boucheron Archives

古くから人や動物の食糧として親しまれてきたアヴォワンヌ（オーツムギ）は、豊かさ、繁栄、そして生命の象徴とされています。

風に揺れるアヴォワンヌよりインスピレーションを得て、美しく髪を飾る 2 つのヘッドジュエリーが誕生しました。これらは、ブローチにも形を変えることができるマルチウェアラブルな作品です。メゾンの職人の技巧と細部への徹底的なこだわりによって、わずかな動きに合わせて揺れ動く穂の様子が再現されるなど、繊細さと芸術的なフォルムが独自のスタイルを生み出します。

アイテム名： ヘッドジュエリー（マルチウェア作品）

素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

CHARDON (シャルドン)



ネックレス



ブローチ

乾燥した地に自生し、鋭い棘で身を守るシャルドン（アザミ）は、厳格さと力強さの象徴とされています。

ブシュロンは、アーカイブに残る 1878 年作のシャルドンのブローチを現代的に再解釈し、この野生の植物を表現したネックレスとブローチを制作しました。そのリアルな表現は、作品の表面だけでなく裏面に至るまで徹底的に追求されています。職人たちはデジタル技術を駆使し、輪郭、立体的なフォルム、そして細部のデザインを忠実に再現しながらも、一見すると鋭い印象のジュエリーを快適に着用できるように仕上げました。裏面にはオープンワークを施し、自然の中で自生する植物の生き生きとした印象を与えると同時に、作品の軽量化とダイヤモンドの輝きの最大化を実現しました。選り抜かれた様々なサイズのダイヤモンドがこの精緻な技巧によって一層の輝きと美しさを放ちます。

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



アイテム名： ブローチ（マルチウェア作品）
素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

アイテム名： ネックレス（マルチウェア作品）
素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

CYCLAMEN（シクラメン）



イヤリング



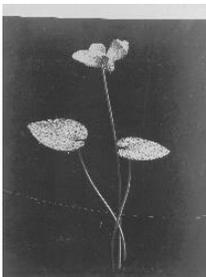
リング

涼しい山岳地帯に自生するシクラメンは、花言葉で変わらぬ想い、真摯な愛情を象徴します。

メゾンのアーカイブに残るシクラメンのジュエリーが、クレール・ショワンヌのビジョンにより、繊細で立体的なリングとアシンメトリーな一対のイヤリングとして再解釈されました。イヤリングの一方は、ダイヤモンドが敷き詰められた茎の上に6枚の花びらが広がるデザインです。また、もう片方は、オープンワークを施したダイヤモンドの葉を描くスタッドタイプで、左右異なるデザインで完成するアシンメトリーのイヤリングです。

シクラメンの花びらにローズカットダイヤモンドをセッティングするには高度な技術を要するため、制作過程においてカットिंगとセッティングの職人たちによる連携と精緻な調整が必要となりました。

イヤリングには総計101石のローズカットのダイヤモンドが厳選され、花びら一枚一枚の大きさや、その曲線に合わせて完璧にセットされています。一方で、葉の部分にはラウンドブリリアントカットのダイヤモンドを敷き詰めることで、全体に調和のとれた自然なデザインを完成し、華やかなコントラストを演出します。



アーカイブからのインスピレーション：
シクラメンの花のブローチ、

1889年

©Boucheron Archives

アイテム名： イヤリング
素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

アイテム名： リング
素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド



FLEUR DE CAROTTE (フルール ドゥ キャロット)



ブローチ

フルール ドゥ キャロット (ニンジンソウ) は温帯地域に自生する草本植物で、その小さな白い花が集まった姿は、純潔や無垢の象徴とされています。

本コレクションの中で唯一、アーカイブ作品からのインスピレーションでなく、クレール・ショワンヌの構想によって制作されたブローチです。このクリエイションは、ハイジュエリー作品で構成する植物事典に野生の可憐な花を加えたい、というクレールの夢により誕生しました。柔らかさと丸みを帯びたフォルムの花の姿を忠実に再現するために、クラスターを構成する小さな白い花一つ一つが丁寧に形作られました。さらに、この作品は、ブローチやヘッドジュエリーとして着用できるマルチウェアラブルな作品に仕上げられています。ダイヤモンドのセッティングには3種類の異なる方法を採用することで、美しい光の反射と華やかな煌めきを引き出しました。クリエイションを通して、メゾンが世代を超えて受け継いできた卓越した技術力と、自然の美しさへの賛美を見事に体現しています。

アイテム名： ブローチ (マルチウェア作品)

素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

FUCHSIA (フュシヤ)



ブローチ

多年生植物であり、半常緑の葉と垂れ下がるベル型の花を持つフュシヤ (フクシア) は、情熱を象徴するとされています。

本コレクションでは、アーカイブに残るフュシヤの作品をインスピレーション源とし、イヤリングやブローチとしても着用できるマルチウェアラブルなヘッドジュエリーを制作しました。最大の課題点はフュシヤの花の軽やかさを忠実に再現することであり、それには究極の繊細さと芸術的な美しさを共存させることが不可欠でした。それぞれの葉には軽量化するためにオープンワークが施され軽やかな仕上がりを

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



イヤリング



アーカイブからのインスピレーション：ダイヤモンドと半透明エナメルのスツマッカー(胸当て、胸飾り)、1881年

実現しました。イヤリングには特に緻密な設計がなされており、そよ風に揺れる繊細なめしべの動きが再現されています。その先端には2カラット、Dカラー、タイプIIAのダイヤモンドが贅沢にあしらわれ、この上ない洗練された上質な輝きを放ちます。

さらに、自然の形状を忠実に再現するため、職人たちは花びらを構成する各パーツを手作業で組み合わせ、アシンメトリーで有機的な形状を完璧に表現しました。

また、ダイヤモンドで形作られたつぼみは、咲くべき時を待つ生命の力強さと躍動感を感じさせます。この作品は、自然が永遠の再生を繰り返す姿を見事に映し出しています。

アイテム名： ブローチ (マルチウエア作品)
素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

アイテム名： イヤリング
素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド



LAURIER (ローリエ)



イヤリング



アーカイブからのインスピレーション：落ち葉とパールのクエスチオンマークネックレス、
1880年代

常緑で冬にも緑の葉を保つ多年草であるローリエ（月桂樹）は、不滅と栄光の象徴です。中世以来、大学では学識ある者をローリエの冠で称える伝統がありました。この習慣は現在もイタリアなど一部の国々で受け継がれ、学位取得者がローリエの冠を授かる儀式が行われています。

本コレクションでは、アーカイブに残るローリエの作品を再解釈し、軽やかさをそのままにイヤリング作品を制作しました。メゾンの職人たちの類まれなサヴォワール フェールにより、イヤリングの片方の重量はわずか19グラムという驚異的な軽量化を実現しながら、ローリエの繊細で美しい形状を再現するという難しい課題に挑み、それを成し遂げました。すべての制作工程で職人が密接に連携し合い、それぞれの工程が次の工程に影響を与えるというプロセスのもと、完成したのです。

まず、職人たちはローリエの葉の自然な動きと繊細な波打つラインを忠実に再現するため、ホワイトゴールドを使用して葉の構造を丁寧に作り上げました。その後、オーバルカットとトリリアントカットのダイヤモンドでローリエの実を表現し、さらにリアルな仕上がりを追求。葉の中心に施したオープンワークが、作品全体の軽量化に貢献しています。

さらに、この作品では着用方法の幅を広げ、ショート、ミディアム、ロングの3通りのスタイルで着用できるマルチウェアラブルなクリエイションとなりました。また、驚きの仕掛けとして、イヤリングの一部を取り外して2つのブローチに変化させることも可能です。自然の美しさを変幻自在に様々なフォルムやスタイルで楽しむことができるこのデザインは、伝統と革新を見事に融合させた作品と言えます。

アイテム名： イヤリング（マルチウェア作品）

素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド



LIERRE (リエール)



ネックレス



ブレスレット



クエスチョンマークネックレス
の最初のデッサン、リエール
(ツタの葉) のモチーフ、1881
年

フレデリック・ブシュロンが愛した植物、リエール（アイビー）は、そのつる性植物の特性から、古代から否定的な意味合いを持つことが多い植物でした。しかし、実際にはリエールが自生する壁や木の成長に害を及ぼすことはなく、その生命力から情熱的な愛を象徴する植物としても知られています。

本コレクションでは、リエールが身に着けた人の身体の上を辿るようにつたい、一体化するかのようなデザインのユニークなクリエイションを発表。腕に巻き付くブレスレットと、胸元に添って広がるカスケードブローチの2作品が登場しました。

ネックレスは、枝のパーツを取り外すことで、大胆なブローチ、ヘッドジュエリー、小型のブローチへと変形できるマルチウェアラブルな仕様です。身体全体に添って伸びるリエールの葉は、それぞれが異なる形状と立体感を持ち、さまざまなサイズのトレンブラン（揺れる仕掛け）を採用することで葉に生命が吹き込まれます。葉の裏側に巧妙に仕掛けられたトレンブランはそれぞれの葉のサイズや重量に応じて調整され、作品全体が自然で均一な揺らぎを見せるよう設計されています。メゾンの職人たちに課された課題は、この動きのある葉を美しく調和させながら配置することでした。それぞれの葉は完璧な位置に収まり、どのスタイルで着用しても快適でありながら、リエールが持つ豊潤さが損なわれないように仕上げられています。葉にオープンワークを施したことにより、このダイナミックなサイズ感のブローチ全体に軽やかさが加わり、ボリューム感と繊細さの見事なバランスが実現しました。一方、ブレスレットにトレンブランの仕掛けはありませんが、リンク部分に巧妙な連結構造が施されており、自然でしなやかな動きを実現しています。

アイテム名： ネックレス（マルチウェア作品）

素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

アイテム名： ブレスレット

素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド



MAUVE (モーヴ)



イヤリング



ブレスレット



アーカイブからのインスピレーション：リーフ&フラワーモチーフのコースージュ・トレーン、
1886年頃

フェンスや小道沿いに見られる多年草のモーヴ（アオイ）は、食用植物であり、多くの薬効を持つことで知られています。

ブシュロンのアーカイブに収められたこの繊細で控えめな花に着想を得て、クレール・ショワンが率いるクリエイティブチームはアシンメトリーイヤリングとブレスレットを制作しました。モーヴの花と葉の曲線や輪郭を忠実に再現するために、まずすべての花びらや葉を一枚ずつワックスを用いて彫刻しました。さらに、葉脈を模したオープンワークを施しています。イヤリングは複数のパーツで構成されているため、様々なスタイルで着用することを可能にします。耳のどの部位にも留められるようクリップシステムを採用することで、汎用性の高い作品に仕上げました。一方、ブレスレットは柔軟性を重視し、立体的なフォルムを描くデザインでありながら、完全に平らに置くことが可能です。これらの作品に見られる軽やかさと立体的なボリューム感、柔軟性の両立は、メゾンの職人たちの卓越した技術力を証明しています。

アイテム名： イヤリング（マルチウエア作品）
素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

アイテム名： ブレスレット
素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



ROSEAU (ローズ)



ネックレス



ブローチ



ヘッドジュエリー



ブレスレット

ローズ（葦）は湿地に自生し、世界中に広い地域で見られる植物です。そのしなやかさと折れることのない強さから、柔軟性と忍耐力の象徴とされています。

メゾンはローズがしなやかに葉を伸ばしていく様子を捉えたジュエリーセットを制作しました。ネックレス、ブレスレット、ブローチ、ヘッドジュエリーで構成されるこのセットにてアトリエが挑戦したのは、ローズの葉が広がっていくその一瞬を捉え、ダイヤモンドとホワイトゴールドで永遠にその形を留めることでした。まずは各パーツをワックスで彫刻し、それぞれを固有の異なる形状に再現。各茎の先端には、朝露を想起させるオーバルカットのダイヤモンドをセッティングしました。さらに、このクリエイションの輝きを高めているのは、葉に施されたダイヤモンドのスノーセッティングの技法です。葉のねじれを再現したこの複雑なデザインのために、職人は葉の折り目に沿って精緻にセッティングを行う必要がありました。

アイテム名： ネックレス

素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

アイテム名： ブローチ

素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

アイテム名： ヘッドジュエリー

素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

アイテム名： ブレスレット

素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド



アーカイブからのインスピレーション：ダイヤモンドとルビーのトンボと葦のティアラ、1892年



ROSIER (ロジエ)



ネックレス



ネックレス



リング



イヤリング

多年生植物であるロジエ (バラの木)は、人の手が加わらなくても数十年にわたり生き続けることができる植物です。バラ属には約 200 種にも及ぶ野生種があることが知られており、種間で容易に交配する特性を持っています。

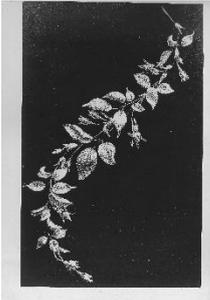
創業者フレデリック・ブシュロンと同様に、クリエイティブディレクターのクレール・ショワンヌが着目したのも、花の女王と称されるバラの花ではなく、棘をもって茂るバラの木でした。そして、2 種類のネックレス、リング、イヤリングから構成される 4 つのクリエイションが誕生しました。このコレクションでは花を咲かせるバラは登場せず、ハイジュエリーとして描かれたのは葉、茎、そして芽吹き始めたつぼみです。その制作における挑戦は、葉が自然に捻れながら生い茂っていく躍動感を再現することでした。その結果、全体で約 70 枚ものそれぞれ異なる形の葉が職人の手によって生み出されたのです。

この生命力溢れるリアリズムの追求は、アイコンックなクエスチョンマーク ネックレスにも反映されています。葉の枚数は本物のバラと同様に奇数であり、自然の植物が持つ複雑で有機的な形状を表現しています。ホワイトゴールドの繊細なラインで際立たせた葉脈、そして首回りにしなやかに巻きつくバラの茎の表面には、ダイヤモンドがセッティングされています。また、茎の先端のドロップモチーフには、贅沢にも 6.01 カラットの F VVS2 タイプのペアシェイプダイヤモンドをセット。周囲はバゲットカットとラウンドカットのダイヤモンドで縁取られ、朝露のしずくのように輝きます。このモチーフは取り外し可能で、指輪にしたり、代わりにダイヤモンドとクリスタルロックで象られたドロップモチーフを装着することも可能です。

その他の 3 つのクリエイションは、伝統的なロストワックス製法を用いて制作されました。メゾンの職人たちは、葉の造形を一枚一枚手作業で再現し、ロジエの軽やかさを極限まで追求しました。自然の中での姿をありのままに表現するため、部分的に葉が重なるようにもデザインされています。リングは 2 つのパーツに分かれ、それぞれ独立して着用可能です。また、イヤリングも 3 つのパーツで構成され、様々なスタイルで楽しむことができます。

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



アーカイブからのインスピレーション：リーフと花のつぼみのモチーフのカスケード・コサージュ・ブローチ、1880年代

アイテム名： ネックレス

素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

詳細： 8.15カラット、4.19カラットのD FLタイプIIAのペアシェイブダイヤモンドおよび2.01カラットのD IFタイプIIAペアシェイブダイヤモンド

アイテム名： ネックレス（マルチウエア作品）

素材： ダイヤモンド、ロッククリスタル、ホワイトゴールド

詳細： 6.01カラットのF VVS2ペアシェイブダイヤモンド

アイテム名： リング（マルチウエア作品）

素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

詳細： 6.04カラットのD IFタイプIIAペアカットダイヤモンド

アイテム名： イヤリング（マルチウエア作品）

素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド

詳細： 2つのD VVS2タイプIIAペアシェイブダイヤモンド、総計10.20カラット



II. Insects (昆虫)

BOURDON (ブルドン)



リング

ブルドン(マルハナバチ)は、植物の命を次の世代につなぐ花粉媒介者としての重要な役割から、再生と新生の象徴とされています。

メゾンのクレール・ショワンヌ率いるクリエイティブチームは、様々な素材を組み合わせ、アーカイブ作品のブルドンを驚くほどの精緻さで現代に蘇らせました。その腹部をホワイトゴールドで形成し、ロッククリスタルとマザーオブパールを用いた数ミリの薄さの翅（はね）には、角度によってわずかに虹色に変化するに透明な光沢を再現しました。翅には、ロッククリスタルにラインを彫刻して翅脈（昆虫の翅に刻まれた筋のような模様）を描き出し、輪郭を強調するためにゴールドにブラックラッカーで縁取り、まるで今にも飛び立つかのような躍動感を与えました。さらに、オニキスの縞模様がリアルさを一層際立たせます。

この作品の技術的なハイライトは、腹部の下に隠されたスライド式の仕組みにあります。これにより、ブローチからダブルフィンガーリングへと容易に形を変えることを可能にしました。

アイテム名： リング（マルチウエア作品）

素材： ダイヤモンド、オニキス、ロッククリスタル、
マザーオブパール、ホワイトゴールド、
スチール、ブラックラッカー



LUCANE (リュカン)



リング

ヨーロッパ最大の甲虫であるリュカン（クワガタムシ）は、雄鹿の角に似た大きな大顎を持つことからその名が付けられました。落葉広葉樹林に生息し、樹液を主な食物とするこの昆虫は、強さと権力の象徴とされています。

ブシュロンは、このリュカンをモチーフとした、ダブルフィンガーリングとブローチの2通りの方法で着用できるマルチウェアラブルな作品を制作しました。ダイヤモンドのパヴェセッティングが全体を覆いつくす中、ブラックラッカーとオープンワークがアクセントとなり、この魅惑的な昆虫を細部まで再現しました。ジュエリーの中心部分には特筆すべきシステムが隠されており、ブローチからリングへと変形させることができます。昆虫の腹部の下に巧妙に配置されたダイヤモンドのボタンを押し、触角を軽くつまむことでその形を変えることができます。

アイテム名： リング（マルチウェア作品）
素材： ダイヤモンド、ホワイトゴールド、
 ブラックラッカー



PAPILLON DE NUIT (パピヨン ドウ ニュイ)



ブローチ

夜の蝶と呼ばれるパピヨン ドウ ニュイは、その名の通り夜行性で、翅の幅は最大で 30cm にまで達することがあります。パピヨン ドウ ニュイの多くの種が人間には聞こえない音を発することから、直感や深い知識の象徴とされています。

ブシュロンのアーカイブに数多く存在する作品に魅了され、クレール・ショワンヌ率いるクリエイティブチームは繊細で美しいその姿をハイジュエリーで表現しました。ブローチとヘッドジュエリーとして着用できるこのマルチウェア作品は、メゾンの職人たちの卓越したサヴォワール フェールを余すところなく発揮しています。白とグレーのマザーオブパールのカラーグラデーションを用いて 4 枚の翅を創り上げることは、極めて高い技術を要しました。マザーオブパールは天然素材のため、それぞれが異なる独自の色合いや輝きを持っています。そのため、調和のとれた美しい仕上がりを実現するには、完全に同じ色調のマザーオブパールを選び、組み合わせることが不可欠でした。翅の表面には脈相を再現するために手作業でエングレーヴィングが施され、裏側はマルチウェアの構造を取り付けるために慎重にくり抜かれました。また、翅の先端にはブラックラッカーによるドットと、バゲットカットのダイヤモンドがあしらわれ、その魅力をさらに引き立て、この作品に生命を吹き込んでいます。

アイテム名： ブローチ (マルチウェア作品)

素材： ダイヤモンド、ホワイト&グレー マザーオブパール、ホワイトゴールド、ブラックラッカー

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



SCARABEE RHINOCEROS (スカラベ リノセロス)



リング

世界最強の昆虫の一種とされるスカラベ リノセロス (カブトムシ) は、自身の体重の何十倍もの重量を持ち上げることができる昆虫です。その力強さゆえに、古来より幸運をもたらす存在とされ、幸運のお守りとして描かれてきました。

メゾンはアーカイブに残るスカラベ リノセロスのジュエリーを再解釈し、翅を広げてどこかに舞い降りようとしているかのような斬新な姿でこの昆虫を捉え、大胆に表現しました。メゾンの職人たちの細部へのこだわりは、特に翅のリアルな表現として見られます。この翅は、ブルドンの作品と同様にマザーオブパールにロッククリスタルを重ねて再現しました。ホワイトゴールドのフレームやブラックラッカーのアクセントが翅脈を模した繊細なディテールを生み出し、作品に奥行きとコントラストを加えています。さらに、繊細な翅は動かすことができ、本物さながらのリアリティを一層引き立てています。また、ロッククリスタル製の翅は、胴体の細部をより鮮明に見せる拡大鏡のような効果をもたらします。

腹部の裏側には、ブローチからダブルフィンガーリングにジュエリーの形を変える仕掛けを備えています。

アイテム名： リング (マルチウェア作品)
素材： ダイヤモンド、ロッククリスタル、
 マザーオブパール、ホワイトゴールド、
 ブラックラッカー

BOUCHERON

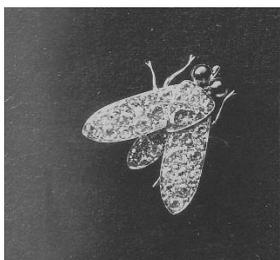
PARIS DEPUIS 1858



ABEILLE, COCCINELLE & MOUCHE (アベイユ、コクシネル、ムーシュ)



イヤリング(アベイユ)
ブローチ (コクシネル)
ブローチ (ムーシュ)



アーカイブからのインスピレーション：ダイヤモンドの昆虫ブローチ、1870年代

フレデリック・ブシュロンと同様に、クレール・ショワンヌは昆虫の繊細な造形美に魅了され、アベイユ（ハチ）、コクシネル（テントウムシ）、ムーシュ（ハエ）という3つのクリエイションを通じて、自然の美しさ、そしてそこに生きる野生の動植物への敬意を表現しました。このクリエイションは異なる昆虫が共存する生態系を象徴し、一つでも欠けては成り立たない関係性を表現しています。

アベイユは耳元を彩るイヤークリップに、コクシネルとムーシュはやわらかなスパイラル状ピンで髪や衣服にブローチのように軽やかに留めることができます。メゾンの職人たちは、昆虫の生き生きとした姿を驚くほどの精密さで再現しました。翅には、マザーオブパールの層にロッククリスタルの層を重ね、自然な透明感と虹色の輝きを表現しています。また、翅に施された模様（翅脈）はレーザーによる彫刻で細密に描かれました。アベイユの縞模様はダイヤモンドとブラックラッカーで再現され、コクシネルの斑点やムーシュの模様はブラックラッカーを用いて表現されています。

アベイユ（ハチ）

アイテム名： イヤリング
素材： ダイヤモンド、ロッククリスタル、
マザーオブパール、ホワイトゴールド、
ブラックラッカー

コクシネル（テントウムシ）

アイテム名： ブローチ（マルチウエア作品）
素材： ダイヤモンド、ロッククリスタル、
マザーオブパール、ホワイトゴールド、
ブラックラッカー

ムーシュ（ハエ）

アイテム名： ブローチ（マルチウエア作品）
素材： ダイヤモンド、ロッククリスタル、
マザーオブパール、ホワイトゴールド、ブラックラッカー